

大沼小学校1年生の学習

「むかしあそびをしよう」をサポートしました

令和5年1月17日（火）に、「むかしあそびをしよう」が体育館において、3年ぶりに開催されました。『この学習のねらいは』

- ① 昔遊びに興味をもち、その遊び方を地域の高齢者の方に教わって、楽しく遊ぶことができる
- ② 好きな「昔遊び」を見つけて、進んで遊ぶことができる。
- ③ 地域の方々に感謝の気持ちもつことができる。

の3点が掲げられており、同校の「スクールミュージアム運営委員会」に所属する、コミュニティ推進会、交流センター、PTA、親慈の会、大沼学区高齢者クラブから派遣された約30名の学習サポーターが先生役を務めました。

種目は、お手玉、あやとり、福笑い、かるた、けん玉（写真1）、缶ポックリ、コマ、ぶんぶんごま、竹とんぼ、羽根つきで、約100名の一年生を5班に分け、指導しました。いずれの種目も初めて体験の生徒さんが多く、興味をもって熱心に取り組み、大変楽しそうでした。

学年担当の先生方も指導に加わり、初めの会や、終りの会を含めてきちんと挙行でき、生徒さんにとっても貴重な体験になったようで、よかったです。

終りの会では、感謝の気持ちで作成した、お礼の紙ペンダント（写真2）を学習サポーター全員が頂きました<ありがとうございました>

なお、「地域との共生」は大沼学区高齢者クラブの活動方針のひとつとしており、今後も、学校はじめ、地域との交流を積極的に進めてまいります。

（広報担当：学区高連 総務部）



（写真1：けん玉）



（写真2：お礼の紙ペンダント）